

## 市町村議会 特別セミナー 創志会 報告書

期日 令和 2年 1月 16日 (木) ・ 17日 (金)

会場 市町村職員中央研修所 (市町村アカデミー: 千葉県 千葉市)

参加 佐藤 幸雄、石渡 宏明

議題 ① スーパー公務員のチャレンジ  
② 企業とともに発展する行政  
③ 子どもの声がする地方づくり  
④ 防災と危機管理 地方議会の役割と課題

### ◎はじめに:

市町村職員をはじめ、首長、議員などに対して専門性の高い最先端の英知・情報を提供する研修。これまでの受講者は延べ 25 万人を超え、全国レベルのネットワークを形成。今回、全国 26 都道府県より計 148 名が参加。



### ◎講演概要:

#### ① スーパー公務員のチャレンジ: 立正大学客員教授 高野 誠鮮 氏

- ・ 会議をしても、論議をしても、計画書をつくっても。アクションをとらねば何も変わらない。具現化するのは誰? → それは「人」
- ・ 典型的な「ダメ」な人の事例。
  - 失敗したときのことを真っ先に言う人
  - 経験則もないのに知っているだけの人

- 組織栄達、お金だけが目的の人
- 論議だけの人、私心がある人、知を識にしていない人
- 気をつけねばならない「役所思考」とは？
  - 誰も反対しない意見でまとめようとする
  - 経験的知識が乏しく、誤判断する、アントレプレナー精神がない
  - 合議制によって責任所在がない
  - 社会経験が少ない、石橋を叩いて壊す精神、基本理念が全くない
- 導き出さねばならない思考の方向性
  - できない理由を考えない
  - 条件を外に出さない
  - 原因をリサーチする（中途半端は言い訳）
  - **Proactive Coping ...**
    - ゴールに近づくための積極的で前向きな対処法を実施してみる
  - 駄目もとでとにかくやってみる
- 3つの大切な基本戦略 ...
  - ① 多くの人を動かす「メディア戦略」
  - ② 購買意欲をかきたてる「ブランド化戦略」
  - ③ 多くの人を訪ねる「交流戦略」
  - ⇒ 適格な情報発信 ... 近くに落とさず、とにかく遠くに投げる。
  - そして国内のみならず、世界に投げしてみる。

② 企業とともに発展する行政: 神戸国際大学経済学部教授 中村 智彦 氏

- 高齢化&少子化 = 市場が縮小する
- 2020年代になると ...
  - 団塊世代は後期高齢者に。毎年の死亡数は150万人台に。高齢化率30%。
  - 発想を今から転換しないと生き残れない。
  - 過労死容認や、女性。外国人蔑視の経営は許されない。
- バックヤードは前面に決して出ないこと。
  - コンサル・公務員・事務局 ... あんたじゃない。役割分担を間違えると失敗をするだけ。何をすれば儲かるのか、合理的な判断力を養うこと。
- 4つの視点 ...
  - a) ブランディングはなんのために行っているのか
  - b) ターゲットにあった営業活動になっているのか
  - c) IT、IoTに対応はできているか
  - d) 市場の変化に対応できているのか

③ 子どもの声がする地方づくり：関西大学人間健康学部長 山縣 文治 氏

- 2040年、市町村はどうなっているか？人口はどこまで維持できるか？
- 現代社会にはびこる3つの病気
  - 生活経験欠乏症
  - 情報依存症（知識肥満症）
  - 責任転嫁症（自分勝手症候群）
- 子育て支援の目標とは？
  - 現実的解決
  - 対処能力の獲得
  - 地域生活力の向上
- 子どもの虐待発生要因は ...

子どもの要因	子どもに責任があるのではなく、受けやすい状況（期待に沿わない、自己主張が強い、成長が遅い、障がい、実子ではない、等）
親の要因	精神・人格面、自信過剰、ゆがんだ責任感、DV、家庭内の孤立、低所得、ステップファミリー、社会的孤立
親子関係の要因	養育能力、意識の不足、子どもより自身の楽しみを優先、予期せぬ妊娠
社会の要因	個人の生き方を尊重、ネット情報が正しい？無関心社会、監視社会、豊かさを「モノ」に求める社会

- 子ども虐待の支援で意識すべきこと ...
  - 経済的な要因はさまざまな問題に影響する
  - 社会的な孤立はさまざまな問題に影響する
  - DV家庭では子ども虐待も起こりやすい
  - 乳幼児期のネグレクトは死に繋がる
  - 大人は自分の非を認めるのが苦手である
  - 虐待はさまざまに組み合わさる
  - 暴力的であろうが愛着的であろうが、完全に支配されていると本当のことをいいにくい
  - 他の対応方法がわからず、無意識に虐待をしている人も少なくない
  - 人間には回復力がある
  - 人は皆楽しく生きたいと思っている、が、楽しさは人によって違う

④ 防災と危機管理 地方議会の役割と課題：明治大学名誉教授 中邨 章 氏

- 災害発生時の住民の公助依存度
- 事前準備と議会の啓発教育

1. 意識・認識・知識・組織 … 危機の4識
  2. 啓発活動と教育 … 図上訓練、Shake Out
- ・資金不要の政策選択（事前準備の事例）

	資金不要の施策	資金がかかる施策
短期的効果	シミュレーション訓練 ブレインストーミング S-KYT, Shake Out	ハイテク技術
長期的効果	組織編制 指揮命令系統の整備 自主防災組織など	まちづくりなど

- ・市町村議会の政策チェック … 防災対策の高度化、対策本部の良運営、支援物資管理、受援体制の構築、保健業務、他
- ・執行部の危機対応を確認 … 情報収集と整理。危機対応体制の確立、避難誘導、避難所の設置運営、関連機関との連携、情報伝達、他
- ・市町村議会が進める防災の制度設計 … 災害基本条例、災害対策関連条例、地方防災会議への首長等の参加、災害対策本部への参加、本部から議会への情報伝達の制度化、議会独自の対策本部・復興本部の創設と功罪、災害対応の特別委員会の議会設置、他
- ・地方議会人の役割期待 … 不安の緩和、心理的応急処置、非ルーチン事務や例外対処、紛争解決、ボランティア活動との調整、他

### ◎所感

2日間、計4つの講演受講に接し、いずれも非常に興味深く我が桐生市にもあてはまる事例の多くを耳にすることができ、大変有意義な機会であった。

市民からの信任を受けて選出をされた市議会議員の責任のひとつには、市民の声に対し傾聴の姿勢を持って臨み、地域の課題解決を図っていくことにあることは言うまでもないが、そのためには数多くの経験と知識、そして外の世界に学ぶことが必要と考える。

こうした外の世界に学ぶ機会は今後とも積極的かつ計画的に、広く世代を問うことなく開催していくことが、我が桐生市の発展と存続にとって肝要であり、以降もその機会ある際には是非とも参加をさせて頂きたいと願う。

以上